

大井浩明

連続ピアノリサイタル

ヨハネス・ブラームスの轍 (全四回)

第1回公演

2026年6月7日(日) 15時開演(14時45分開場)

- J. ブラームス (1833-1897) : R. シューマン 《蝶々 Op.2-7》によるカノン Anh. III/5 (1832/1855)
- R. シューマン (1810-1856) : 《ピアノ五重奏曲 Op.44》より「スケルツォ」(1842/54、ブラームス編) [*]
- J. ブラームス : ピアノソナタ第2番 Op.2 (1852、全4楽章) [*]
- C. シューマン (1819-1896) : R. シューマンの主題による変奏曲 Op.20 (1853)
-
- J. ブラームス : R. シューマンの主題による変奏曲 Op.9 + Anh. III/6 (1854/68) [*]
- C. シューマン : 3つのロマンス Op.21 (1853/55) [**]
- J. ブラームス : 組曲イ短調 [前奏曲とフーガ WoO 9 (1856) [*] / アレグロ (1853) / サラバンド WoO 5-1 (1854) / ガヴォット WoO 3 (1855、R. バスコール補筆) / 螺旋カノン Anh.III/3 (1856) / ジーグ WoO 4 (1855)]
- J. ブラームス : 主題と変奏 (弦楽六重奏曲第1番より) Op.18b (1860) [*]
-
- G.F. ヘンデル : チェンバロ組曲 変ロ長調 HWV 434 より「前奏曲」(1733)
- J. ブラームス : ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ Op.24 (1861) [*]
- J. ブラームス : グルックの歌劇《アウリスのイピゲネイア》より「行進曲」「ガヴォット」(1774/1857/1871) [*]
- J. ブラームス : 我が恋は緑 Op.63-5 (1874)
- J. ブラームス : 雨の歌 Op.78-3 (1873/1879/1919、P. クレンゲル編) [*]
- J. ブラームス : 6つの小品 Op.118 (1893) [*]

[*]・・・J. ブラームスから C. シューマンに献呈
[**]・・・C. シューマンから J. ブラームスに献呈

第2回公演

2026年9月13日(日) 15時開演(14時45分開場)

- スケルツォ Op.4 (1851)
- チェルニー (Op.139-42) による練習曲 Anh. Va/17 (1852)
- ピアノソナタ第1番 Op.1 (1852、全4楽章)
-
- 4つのバラード Op.10 (1854)
- バガニーニの主題による変奏曲 Op.35 (1862、全2巻)
-
- 5つの練習曲 Anh.Ia/1 [I. ショパン (Op.25-2) によるエチュード (1836/52)
- II. ウェーバー (Op.24-4) によるロンド (1812/62) - III./IV. バッハによるプレスト (1720/1877) - V. バッハのシャコンヌ (1720/1877)]
- 7つの幻想曲 Op.116 (1892)

松山庵

芦屋市西山町20-1 (阪急神戸線「芦屋川」駅徒歩3分)

4000円 (全自由席 コーヒー付き)

〔要予約〕 tototarari@aol.com (松山庵)

後援 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 (PTNA)



Hiroaki OOI Klavierrezitals
Johannes Brahms Fußspuren

〈使用エディション〉 新ブラームス全集 (2007/2017)

【第3回公演】 2026年11月8日（日）15時開演（14時45分開場）

ピアノソナタ第3番 Op.5 (1853、全5楽章)

ラコッツィー行進曲 Anh. III/10 (1850s)
ハンガリーの歌の主題による変奏曲 Op.21-2 (1853)
1 0のハンガリー舞曲 WoO.1 (1872)

8つの小品 Op.76 (1878)
3つの間奏曲 Op.117 (1892)

【第4回公演】 2027年1月10日（日）15時開演（14時45分開場）

サラバンド WoO 5-2 (1855) + ジーグ WoO 4-2 (1855)
自作主題による変奏曲 Op.21-1 (1857)
カノン Anh. III/2 (1864)
1 6のワルツ Op.39 (1865)

ピアノ小品 Anh. III/4 (1862)
ハイドンの主題による変奏曲 Op.56b (1873/1881) [L. シュタルク編独奏版]
2つのラブソディ Op.79 (1879)
4つの小品 Op.119 (1893)

大井浩明 Hiroaki OOI

京都市出身。スイス連邦政府給費留学生ならびに文化庁派遣芸術家在外研修員としてベルン芸術大学（スイス）に留学、同大学院ピアノ科ソリストディプロマ課程修了。ガウデアムス国際現代音楽演奏コンクール（1996/ロツテルダム）、メシアン国際ピアノコンクール（2000/パリ）に入賞。朝日現代音楽賞（1993）、アリオン賞（1994）、青山音楽賞（1995）、村松賞（1996）、出光音楽賞（2001）、文化庁芸術祭賞（2006）、日本文化藝術賞（2007）、柳菴コンテンポラリー賞（2015）等を受賞。これまでにN響、新日フィル、都響、東フィル、東京シティ・フィル、読響、仙台フィル、京都市響、アンサンブル金沢等のほか、ヨーロッパではバイエルン放送響、アンサンブル・アンテルコンタンポラン（パリ）、ASKO アンサンブル（アムステルダム）、ドイツ・カンマーオーケストラ（ベルリン）、シュトゥットガルト室内管、ベルン響等と共演。「ヴェネツィア・ビエンナーレ」「アヴィニオン・フェスティヴァル」「MUSICA VIVA」「ハノーファー・ビエンナーレ」「バンミュージック・フェスティヴァル（韓国・ソウル）」「November Music Festival（ベルギー・オランダ）」等の音楽祭に出演。ルクセンブルク・フィルと共演したC D《シナファイ》（仏 TIMPANI レーベル）はベストセラーとなり、ル・モンド・ドゥ・ラ・ミュージック“CHOC”グランプリを受賞した。戦後前衛ピアノ音楽を体系的に網羅する作曲家個展シリーズ「Portraits of Composers (POC)」を2010年より開始、現在までに計56公演（約500曲）を数える。

公式ブログ： <http://ooipiano.exblog.jp/>

ちうりつぶが櫻する
蒼ざめた董な金木犀に匂ふ帷子翻し
朝闇に蠢く彼岸花の土深く
蜥蜴に蚯蚓に
渴いた梅の根が叫ぶこ
はるかむかうに鳥が啼くのか
もろびとよここにこそ聴け
みやびなる盤渉の調
ことばなく ことばある
楽の根の牙

えちうどは 悲しきかな
絃をはじく 指の力の
一色にあらず 七色の
光の色を 紡ぎだす
技は どこまで 窮めれば
技の別れは てふてふの
羽搏きのごと 歌になる
開くまでの貯えの時間を
誰も知らない それでいい
そのかわり 未来にまで咲いてやる

椿も薔薇もお喋りで
頬赤らめる芝の若葉に
馬酔木の毒を 一服
体が痺れて 俺が俺でなくなるとき
その陶酔は目ざすものではない
世が狂って酔いつぶれるとき
俺は醒めていたい
覚醒はまずひとりから
ことばなく ことばある
楽の音の牙へ

（山村雅治）